

# ワイヤレスアクセスポイント(WAP)での信頼できるアクセスポイントリストの作成またはインポート

## 目的

不正アクセスポイント(AP)は、ネットワーク管理者の同意なしにセキュアなネットワークにインストールされるアクセスポイントです。不正なAPは、ネットワークの範囲内にワイヤレスルータをインストールしたユーザがネットワークにアクセスする可能性があるため、セキュリティ上の脅威となる可能性があります。APのWebベースのユーティリティの[Rogue AP Detection]ページには、範囲内にあるワイヤレスネットワークに関する情報が表示されます。

信頼できるAPリストを作成すると、[Detected Rogue AP List]の詳細を利用して、管理者が信頼するAPを追跡できます。

この記事では、アクセスポイントでAPリストを作成、インポート、およびダウンロードする方法を説明します。

## 該当するデバイス

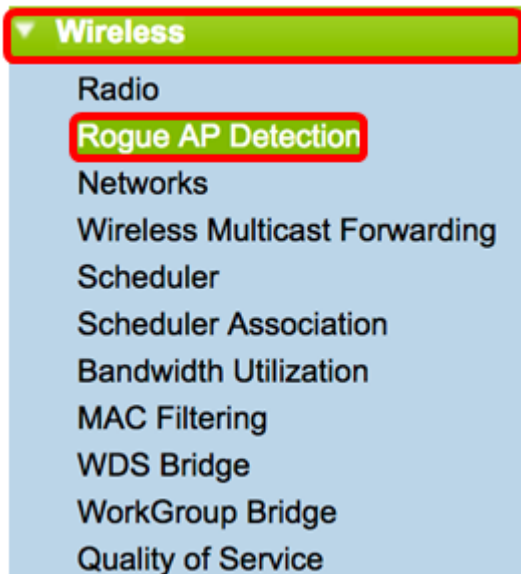
- 100シリーズ – WAP121、WAP150
- 300 シリーズ
- 500 シリーズ

## [Software Version]

- 1.0.1.7 — WAP150、WAP361
- 1.0.0.17 — WAP571、WAP571E
- 1.0.2.2 — WAP131、WAP351
- 1.0.6.5 — WAP121、WAP321
- 1.2.1.3 — WAP551、WAP561
- 1.3.0.3 — WAP371

## 信頼できるAPリストの作成

ステップ1：アクセスポイントのWebベースのユーティリティにログインし、[Wireless] > [Rogue AP Detection]を選択します。



ステップ2：検出されたAPを信頼するか認識した場合は、リスト内のエントリの横にある[Trust]ボタンをクリックします。これにより、対応するAPが[Trusted AP List]に追加され、[Detected Rogue AP List]から削除されます。

注：APを信頼すると、APがリストに追加されるだけで、APの動作には影響しません。リストは、さらにアクションを実行するために使用できる組織ツールです。

検出されたアクセスポイントに関する次の情報が表示されます。

- [MAC Address]：不正APのMACアドレス。
- 無線：参加できる不正APの物理的な無線。
- ビーコン間隔：不正APによって使用されるビーコン間隔。すべてのAPは、ワイヤレスネットワークの存在をアドバタイズするために、定期的な間隔でビーコンフレームを送信します。
- Type：検出されたデバイスのタイプ。APまたはアドホックのいずれかです。
- SSID：不正APのService Set Identifier(SSID)。ネットワーク名とも呼ばれます。
- [Privacy]：不正APでセキュリティが有効かどうかを示します。Offは不正APのセキュリティが有効になっていないことを示し、Onは不正APのセキュリティ対策が有効になっていることを示します。
- [WPA]：不正APに対してWi-Fi Protected Access(WPA)セキュリティが有効になっているかどうかを示します。
- 帯域：不正APで使用されるIEEE 802.11モード。2.4 GHzまたは5 GHzのいずれかです。
- [Channel]：検出されたAPが現在ブロードキャストしているチャンネルを表示します。
- Rate：検出されたAPの現在のブロードキャストのレートをMbpsで表示します。
- Signal:APからの無線信号の強度を表示します。
- ビーコン：最初に検出されてからAPから受信したビーコンの合計数を表示します。ビーコンフレームは、無線ネットワークの存在を通知するために、一定の間隔でAPによって送信される。
- [Last Beacon]:APから受信した最後のビーコンの日時を表示します。
- レート：検出されたAPのサポートされているレートと基本レートをメガビット/秒でリストします。

Detected Rogue AP List													
Action	MAC Address	Radio	Beacon Interval (milliseconds)	Type	SSID	Privacy	WPA	Band	Channel	Rate	Signal	Beacons	Last Beacon
Trust		Radio 1:VAP0	102	AP		On	On	2.4	1	24		6896	Thu Dec 1
Trust		Radio 1:VAP0	100	AP		On	On	2.4	6	1		11279	Thu Dec 1
Trust		Radio 1:VAP0	100	AP		On	On	2.4	6	1		13306	Thu Dec 1
Trust		Radio 1:VAP0	100	AP		On	On	2.4	6	1		9113	Thu Dec 1
Trust		Radio 1:VAP0	100	AP		On	On	2.4	6	1		18189	Thu Dec 1

ステップ3: ( オプション ) APが信頼されると、[Trusted AP List]テーブルに値が入力されます。リストからAPを削除するには、[Untrust]をクリックします。

Trusted AP List								
Action	MAC Address	Radio	Type	SSID	Privacy	Band	Channel	
Untrust		Radio 1:VAP0	AP	WAP571	On	2.4	6	
Untrust		Radio 1:VAP0	AP	ciscosb	On	2.4	6	
Untrust		Radio 1:VAP0	AP	CiscoSB-Setup	On	2.4	2	

ステップ4: ( オプション ) [Download/Backup Trusted AP List]領域で、オプションボタンをクリックしてPCからAPに設定ファイルをダウンロードするか、[Backup]をクリックしてAPからPCにリストをダウンロードします。[ダウンロード(Download)]を選択した場合は、次の手順に進みます。「バックアップ」を選択した場合は、ステップ7に[進んでください](#)。

**Download/Backup Trusted AP List**

Save Action:  Download (PC to AP)  Backup (AP to PC)

Source File Name:  No file chosen

File Management Destination:  Replace  Merge

ステップ5:[Source File Name]領域で、[Choose File]をクリックして、APにダウンロードするPC上のファイルを選択します。

注：この例では、Rogue1.cfgが選択されています。

**Download/Backup Trusted AP List**

Save Action:  Download (PC to AP)  Backup (AP to PC)

Source File Name:  **Rogue1.cfg**

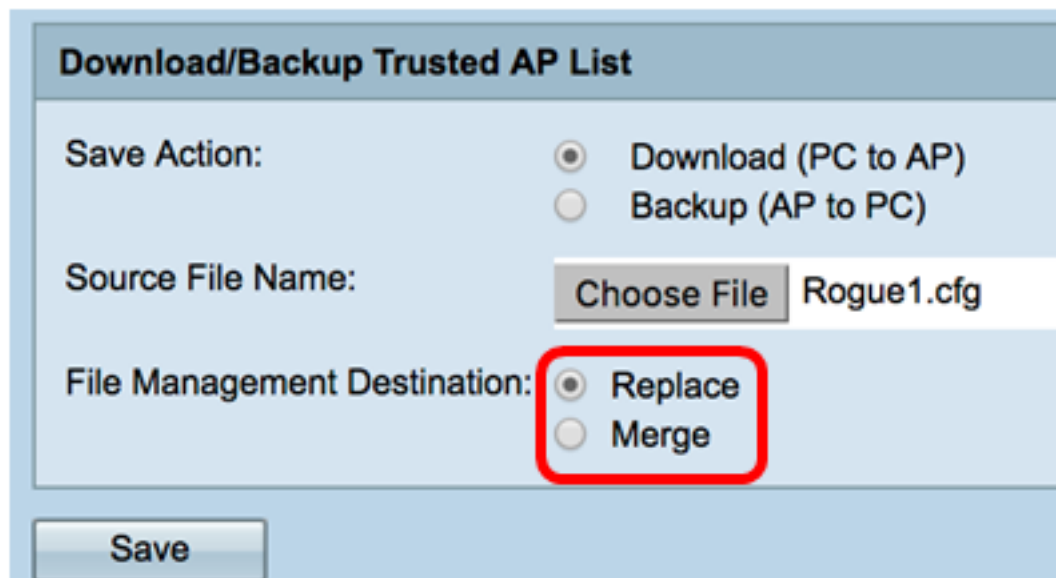
File Management Destination:  Replace  Merge

ステップ6:[File Management Destination]領域で、オプションボタンをクリックして、ファ

イルを既存のリストと置き換えるか、マージします。次のオプションがあります。

- Replace : リストをインポートし、Trusted AP Listの内容を置き換えます。
- [Merge] : リストをインポートし、インポートされたファイル内のAPを現在Trusted AP Listに表示されているAPに追加します。

注 : この例では、[置換]が選択されています。



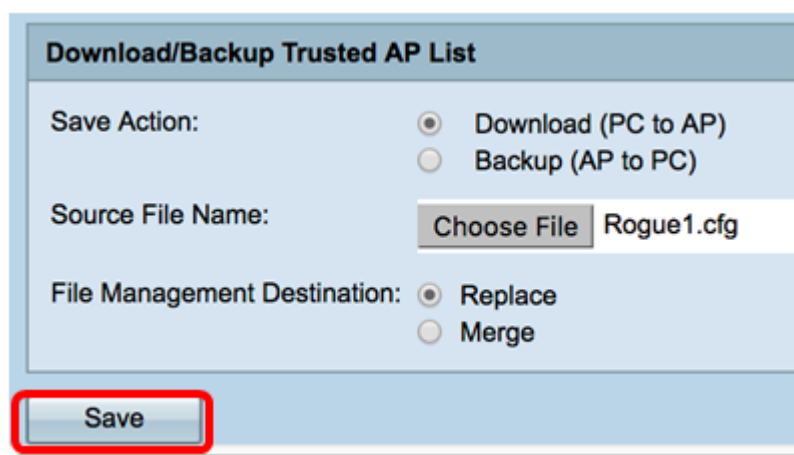
**Download/Backup Trusted AP List**

Save Action:  Download (PC to AP)  
 Backup (AP to PC)

Source File Name:  Rogue1.cfg

File Management Destination:  Replace  
 Merge

[ステップ7:](#) [Save]をクリックします。



**Download/Backup Trusted AP List**

Save Action:  Download (PC to AP)  
 Backup (AP to PC)

Source File Name:  Rogue1.cfg

File Management Destination:  Replace  
 Merge

これで、WAPで信頼できるAPリストを作成、バックアップ、インポートできました。